報道関係各位

2024 年 8 月 19 日(月)
スターティアホールディングス株式会社

ウィルズと提携し、生成 AI 活用の海外 IR 動画制作サービスを強化！

～海外機関投資家への配信が可能に 【スターティアホールディングス】～

スターティアホールディングス株式会社(本社：東京都、代表取締役：本郷秀之、証券コード：3393)は、生成 AI を活用した海外 IR 動画の制作サービスの共同商品化、及び販売協力を目的に、株主管理プラットフォームを提供する株式会社ウィルズ(本社：東京都、代表取締役：杉本光生、証券コード：4482)と 2024 年 8 月 14 日(水)付けで業務提携契約を締結したことをお知らせします。本業務提携により、両社のお客様は、当社が制作した決算説明の海外 IR 動画を、ウィルズの IR-navi に登録された海外機関投資家に配信することが可能になります。
・生成 AI を活用した海外 IR 動画の制作サービス：https://www.startiaholdings-ai.com/

■提携内容

1）当社 IR 動画制作サービスの顧客への IR-navi システムの提供
2）ウィルズの IR-navi システムを活用した IR 動画の海外機関投資家への配信・視聴促進
3）相互顧客紹介、営業協力体制構築、及び販売代理

当社は、中堅・中小企業向けに情報技術の基盤となるシステムや設備を構築・運用する IT インフラ事業と、売上拡大を実現するデジタルマーケティング事業を主軸に展開しています。本年 6 月には、生成 AI を活用した海外 IR 動画の制作サービスを開始しました。

一方、ウィルズは、これまで主力商品たる IR-navi を活用したオンライン決算説明会サポートサービスを展開してまいりました。ウィルズのサービスは、一般的な決算説明会の動画配信サービスと異なり、IR-navi を通じてグローバルで 100,000 名を超える機関投資家に対してプッシュ型で情報配信ができ、より多くの機関投資家に向けた決算説明会を開催することが可能です。

本業務提携により、当社とウィルズが共同で、生成 AI を活用した上場企業の海外向け IR 動画コンテンツの制作及びその動画の海外機関投資家への配信を一気通貫で行える仕組みづくりを目指します。

このサービスは、まず経営者（社長、CFO 等）の姿、声、話し方を忠実に再現した AI アバターがネイティブ英語でプレゼンテーションを行う IR 動画を、短期間・低価格で制作します。 経営者の英語スキルは一切不要、一度 AI アバターを制作すれば、撮影することなく、テキストやスライド等の素材だけで動画を制作することが可能です。完成した IR 動画はすみやかに IR-navi にアップされ、海外の機関投資家に配信・視聴されることとなります。

■背景と目的

東京証券取引所は、海外投資家が判断しやすい投資環境を整え、幅広い投資資金を呼び込むことを目的として、2025 年 4 月からプライム上場企業に対して決算情報や適時開示情報の英文開示を義務付けると発表しました。実際、海外機関投資家からは、決算情報、決算補足情報の英語によるタイムリーな情報開示を要望する声が多いものの、現状、未対応の上場企業が多く、国内機関投資家と海外機関投資家の間には大きな情報格差が存在しています。今回の提携は、海外機関投資家が日本企業の IR 情報の入手をより容易にし、最終的にはこの情報格差を小さくしていくことを目的としています。

＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞
スターティアホールディングス株式会社広報 IR 部　MAIL：release@startiaholdings.com

■今後の取り組み

当社公認 AI バーチャルキャラクターの**井ノ部あい**が今後の取り組みについて説明します。



今回の業務提携により、両社の事業資源を有効活用しながら、上記の課題感を有する顧客を開拓してゆくと共に、当社と他の既存サービスも含めた相互営業を展開して、新たな取引先拡大を目指してまいります。 またこの取り組みを通して、国内機関投資家と海外機関投資家との情報格差が是正され、結果的に、海外投資家による日本企業への投資がより活発になることを期待しています。

●井ノ部あい X（旧 Twitter）https://x.com/AiInove

■海外投資家向けの海外 IR 動画の制作サービス概要

生成 AI を活用した、海外投資家向けの海外 IR 動画の制作サービスを、サブスクリプションモデルで提供します。

・サービスページ：https://www.startiaholdings-ai.com/
・サンプル動画：当社代表の本郷秀之の AI アバターによる海外 IR プレゼンテーション動画
https://www.youtube.com/watch?v=iu6prgMJOqQ

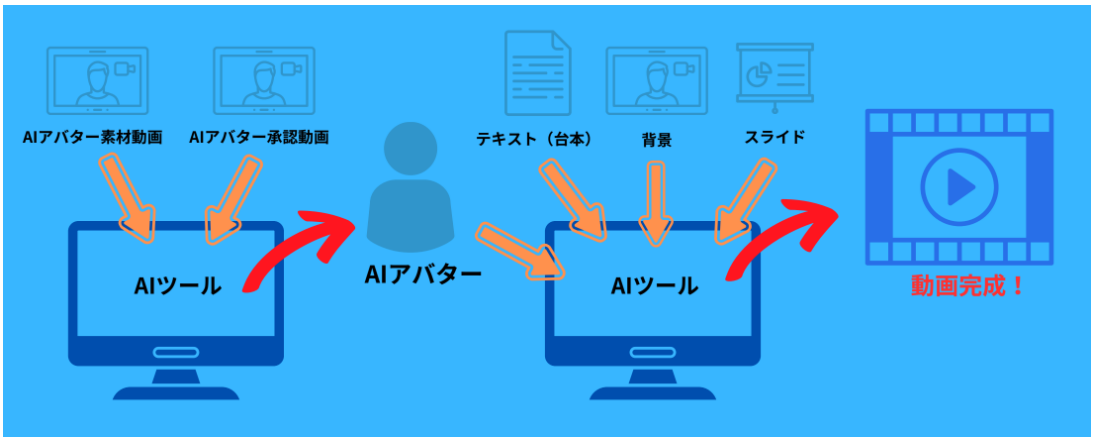
〈特長〉

1. AI アバターによる自然で表情豊かな、ネイティブ英語でのプレゼンテーション
   ・経営者の姿、声、話し方を忠実に再現した AI アバターが、まるで本人が話しているかのように自然で表情豊かな、ネイティブ英語のプレゼンテーションを実現します。
   ・ご本人の英語スキルは全く不要です。テキスト情報（台本）を元に生成 AI がご本人の声で英語音声を生成します。
2. サブスクリプション型で低コスト、かつ正確でスピーディーな制作
   ・月額 98,000 円～(税抜)で、月合計 30 分までの動画作成が可能です。AI アバターの制作後は、動画制作のための撮影は不要なため、従来の動画制作と比較して圧倒的に低コストで、定期的な情報発信を実現できます。
   ・動画制作に必要な素材をご提供いただいてから最短 3 営業日で納品します。
   ・日米のファイナンス用語に詳しい証券アナリスト（CMA）2 次試験合格者が動画制作過程を監修します。
3. 多様なニーズに対応する柔軟な制作体制
   ・台本やスライドなど、動画素材の AI 翻訳サービス（日本語⇒英語）もオプションで提供します。
   ・英語以外の言語にも対応可能ですので、お気軽にご相談ください。

〈制作過程〉

① お客様に AI アバターの素材となる動画(3 分程度)を用意していただきます。
（事前に当社担当者が撮影方法のガイダンスを行いますのでご安心ください。）
② 当社が、お客様から提供された動画をもとに AI アバターを制作します。
③ お客様から動画の台本（テキスト)、スライド、背景等の素材をご提供いただきます。（一部オプションサービスとなります。）
④ 当社が③の素材をもとに動画を編集して完成です。AI アバター制作後は、動画のための撮影は不要です。

＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞
スターティアホールディングス株式会社広報 IR 部　MAIL：release@startiaholdings.com



■ウィルズについて

ウィルズは、国内の上場企業に、国内外機関投資家及び個人投資家を対象としたマーケティングプラットフォームを提供しています。ブロックチェーン技術を活用した株主優待共通コイン（WILLsCoin）と電子議決権行使プラットフォーム（WILLsVote）を通して、株主管理分野での「デジタル・トランスフォーメーション（DX）」を行うサービスとして「プレミアム優待倶楽部」、「IR-navi」、及び「ESG ソリューション」を提供しています。

【会社概要】

社名　　：株式会社ウィルズ
所在地　　：東京都港区虎ノ門 2 - 3 - 17 虎ノ門 2 丁目タワー6 階
代表者　　：代表取締役社長 CEO　杉本 光生
資本金　　：246,900 千円
設立　　：2004 年 10 月 18 日
上場取引所：東京証券取引所 グロース市場（証券コード：4482）
事業内容：上場企業と投資家を繋ぐマーケティングツール IRーnavi、プレミアム優待倶楽部等
・会社 URL： https://www.wills-net.co.jp/
・IR-navi URL：https://www.wills-net.co.jp/service/irnavi.html

■スターティアホールディングスについて

スターティアホールディングスグループは、デジタルマーケティング(事業会社:クラウドサーカス株式会社)と IT インフラ(事業会社:スターティア株式会社、スターティアレイズ株式会社、等)を通じ、中小企業のデジタルシフトを進めていきます。「最先端を、人間らしく。」をコーポレートスローガンに、デジタル技術やサービスを、分かりやすく寄り添って提供します。

【会社概要】

社名　　:スターティアホールディングス株式会社
所在地　　:東京都新宿区西新宿 2 - 3 - 1　新宿モノリス 19 階
代表者　　:代表取締役社長 兼 最高経営責任者　本郷秀之
資本金　　:824,315 千円
設立　　:1996 年 2 月 21 日
上場取引所　:東京証券取引所 プライム市場（証券コード：3393）

事業内容　　:グループ会社の経営管理等

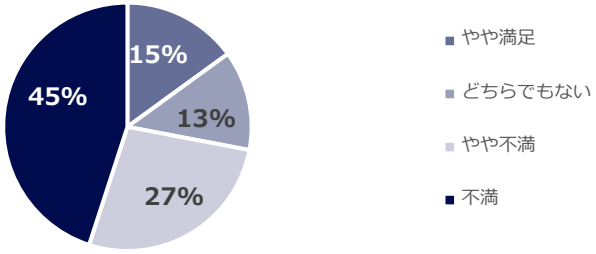
HP　　：https://www.startiaholdings.com/

＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞
スターティアホールディングス株式会社広報 IR 部　MAIL：release@startiaholdings.com

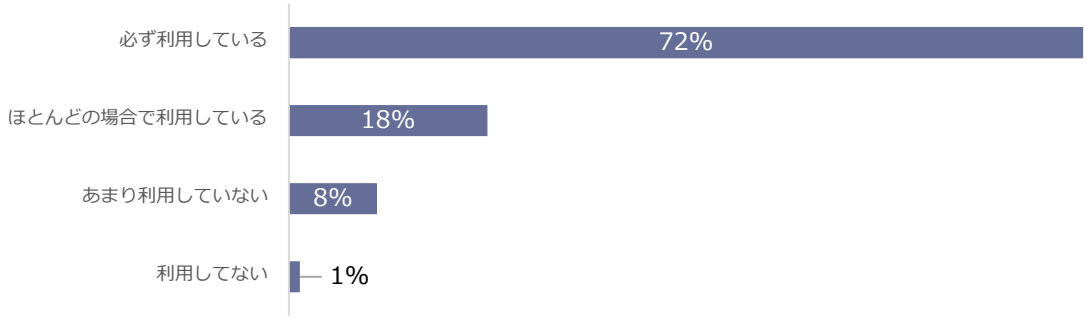
■参考資料

出典：東京証券取引所「英文開示に関する海外投資家アンケート調査結果

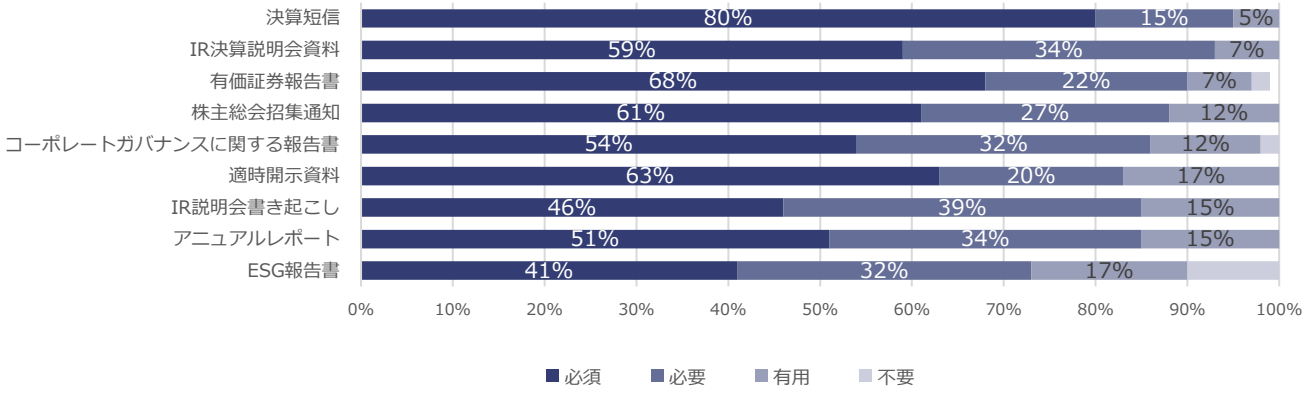
【図 1】日本の上場会社の英文開示に満足していますか。



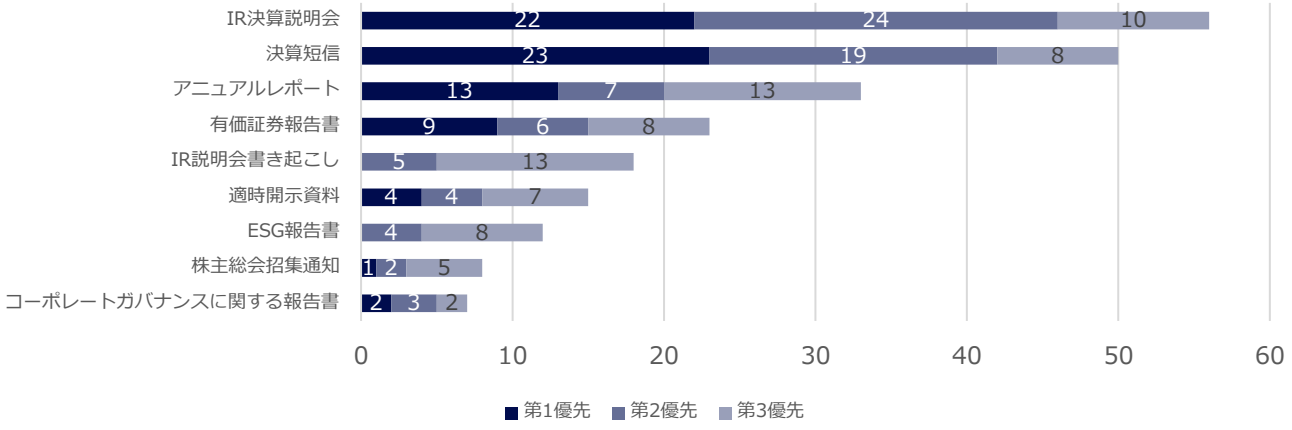
【図 2】新たに投資を行う場合、日本の上場会社が開示する英文資料を利用していますか。



【図 3】日本の上場会社に投資を行う上で、上場会社による英文開示が必要かどうか。



【図 4】日本の上場会社が優先的に英文開示に取り組むべきと考える開示資料の上位 3 つと、その理由について



＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

スターティアホールディングス株式会社広報 IR 部　MAIL：release@startiaholdings.com